

No.204

# KANTOU

かんとう



特集／新年賀詞交歓会

古紙の品質対策 第4回「異物混入」禁忌品B類  
〈付録〉異物混入防止啓蒙・実例ポスター  
(禁忌品B類)

春号

発行 関東製紙原料直納商工組合  
2019.4.20 発行人 大久保信隆／編集人 斎藤大介

東京都台東区東上野1-17-4 坂田ビル  
電話 03(3833)4105(代) <http://www.kantoushoso.com>

# 渉外広報・IT委員会 大分製紙株式会社 研修視察報告



ラグビー WC のキャンプ地別府市  
銅像は別府観光の父・油屋熊八氏



(歓迎の挨拶) 田北裕之社長 (左)、田北信行専務



田北社長の説明に熱心にメモを取る参加者



トイレトペーパーの開封した袋は、  
ゴミ袋に再利用「ラビットバック」



「ラビットバック」は開封もしやすく、  
グッドデザイン賞を受賞



RPF 固形燃料とフォーミング抑制剤のサンプル

## 巻頭言

今年(平成最後の年)で天皇陛下在位30年祝賀式が天皇皇后両陛下を迎えて行われました。この30年間、日本は平和だったが非常に自然災害が多かったと思います。私も社長就任31年となりました。今年は何となく不思議ではあるが今までの3月3日と全然違う感覚の春を迎えました。年齢のせいなのか、自分自身だけなのか、変わった意欲が出てくるのか、悶々と考

えて雛祭りのニュースをボーッと見ていたら、原稿のメ切が迫りましたと督促が入りました。

毎年、春はプロ野球のキャンプが始まり、そして、「選抜高校野球があるぞ。」「ペナントレースはどう展開するか?」「大リーグの日本選手の活躍は?」毎年“わくわく”していたのに今年(平成最後の年)は全然胸騒ぎしないのです。孫とキャッチボールをしても体が硬くなって動けないし、直ぐに息が上がり“フウフウ”だし、思い切り投げられない。相手のボールを捕るのがやっとです。やれば楽しい15分20分ですが、昨年までと心の感覚が違い興味ある物を忘れ始める。老化か? 1月に喜寿の祝いをしていただいた結果、じいさんになる暗示にかかったのか。「至誠一貫」では100年まで戦うフロンティアのつもりで好きなことをやって「ピンピンコロリ」とやる目標を書いたつもりなのに、考えと体が変わる「年齢で起こる病」かな? そうそう自分の事だけでなく業界の本題に戻さなければ。

昨年秋から古紙相場は中国価格によって暴落、年末に2019年のライセンスが出ると長繊維の米国OCC優先、日本にオファーは出ず急落によってプレミアム日本価格も3月までには

### 「新元号に向かって」

関東製紙原料直納商工組合  
理事長  
大久保信隆

基準価格18円/kg近くに決着しそうだ。(中国3月4日公布ライセンスは合計5,536千t)

この急落によって我々は仕入対策が後手後手に回っており、皆苦境に立たされています。発生は紙類が少なく段ボールは前年比2~3%増ですが、小ロットの回収コストが増え経費が膨らんでいます。新年度からはしっかりと段ボール、新聞、雑誌三品ともに

車間距離を取らないと「仕入費用ゼロの持ち去り業者」と「中国バイヤー」と「回収経費の見えない製紙メーカー」によって手玉にとられてしまいます。特に働き方改革、ゴールデンウィーク10日間の連休対策は従量制で物を動かす製紙原料商にとって一番の問題ではないでしょうか。

そんな中、前にも書いた商人道「石門心学」があります。「仁」は心の本体で、お客様を思い、喜んでいただくよう努力すること。「義」は嘘や偽りのない、正直な商売をすることで、商品は傷物やごまかして販売しない。「礼」はありがたいの心(精神)、どんなお客様でも尊敬する気持ちを持つこと。「智」は頭の働き、知恵、応用する能力、商売では絶えず創意工夫をして、いつも事業を改善していくこと。「信」はまことをもって信頼、信用を得ることが店、会社にとっては一番大切です。

これらは今、関東製紙原料直納商工組合が行っている安全で良い古紙原料を作る「古紙商品化適格事業所」の根幹です。最後に持ち去り業者をなくし、全員で平和な元号にしましょう。

(2019.3.5)

# 関東商組と全原連 新年賀詞交歓会

**関東製紙原料直納商工組合**  
(1月17日)

## 適切な車間距離で 安定した利益の確保を

関東製紙原料直納商工組合は1月17日、ホテルラングウッド「鳳凰の間」で新年賀詞交歓会を開催した。会は斎藤大介・副理事長（斎藤英次商店）の司会で進行。最初に近藤勝・副理事長（美濃紙業）が開会の辞を述べ、大久保信隆・理事長（大久保）が挨拶。続いて来賓を代表して富田茂之・衆議院議員、井上宏一・経済産業省製造産業局素材産業課企画調査官、和田健太郎・（公財）古紙再生促進センター関東地区委員長が祝辞を述べた。須長利行・副理事長（二見）が当日参加した来賓を紹介した後、栗原正雄・全国製紙原料商工組合連合会理事長・



[来賓紹介] 須長利行・副理事長

東京都リサイクル事業協会理事長（栗原紙材）による乾杯の発声で定刻まで歓談。藤川達郎・副理事長（藤川紙業）の中締めが続いて、梶野隆史・副理事長（梶谷商事）の閉会の辞で終了した。

## [開会の辞] 近藤勝・副理事長



[開会の辞] 近藤勝・副理事長

今年も年初から経済面・社会面で明るい話がほとんどない。当業界も調整局面を迎えている。今年もいろいろ起こると思うが、業界協調で良い1年になるように祈念します。

## [理事長挨拶] 大久保信隆・理事長 「生業ではなく正業で規範のある業界にする」 昨年を振り返ると2月に北陸の大雪、6月に

### 目次

巻頭言.....	1	三紙会 Tweet .....	30
新年賀詞交歓会 .....	2	支部だより.....	32
関東商組理事会報告 .....	14	編集後記.....	34
三紙会定例会報告.....	17		
特集企画～古紙の品質対策 第4回 「異物混入」禁忌品B類 .....	20		
委員会トピックス.....	26		
新社長紹介.....	29		

**[表紙写真]**  
小田原城の堀に面した馬出門 うまだしもん。白壁と瓦屋根に桜が似合います。  
この時期、入学式の親子づれにも心が和みます。  
渉外広報・IT委員長 須長 利行



[理事長挨拶] 大久保信隆・理事長

大阪北部地震、7月には西日本の豪雨、台風21号、24号が上陸し広範囲にわたり豪雨と強風の被害が発生した。さらに記録的な猛暑が続き9月には北海道胆振東部地震が発生、大規模な停電が発生するなど災いの多い1年だった。

わが国は少子高齢化による労働力不足や、年金支給開始年齢の引き上げと支給額の減額といった問題に加えて、平成元年の3%から始まった消費税が今年の10月から10%に増税される。政府ではさまざまな対策を打ち出しているが、中小企業まではなかなか行き届かない。このように山積する問題を、われわれは自ら乗り越えていかねばならない。今年も大国間の世界的な緊張によって経済は不確実であり、為替の変動による急激な変化でさらに複雑な1年になると思う。

そうした中で昨年の紙・板紙生産量は2,600万t台が見込まれ、概ね30年前と同じレベルだが、古紙を多く使用する板紙の生産量は順調に伸びている。中国が昨年からの固形廃棄物の輸入を大幅に削減し、古紙原料における異物混入率を0.5%以下に規制したことで、日本の製紙原料業界には価格的な混乱が生じた。中国は2020年には固形廃棄物の輸入を認めない方針であると伝えられ、日本の古紙業界では心配する声が挙がっているが、私は大丈夫だと思っている。中国がゴミを買わないのは確かだが、われわれは製紙原料を回収して古紙商品を作っているからだ。

わが国の古紙回収率は81%で、利用率は64%を超えて65%に向かっている。日本の製紙産業は、すでに成熟期にある。製紙会社には今後も消費と生産のバランスを取っていただき、われわれ原料業界は持続的に古紙の品質を向上させていきたい。

仕入単価と販売単価の距離を取らないと利幅が確保できないので、古紙業界としては今年も無駄な競争は謹まなければならない。また古紙の品質を一層向上させるためには、古紙の中に混じる禁忌品について排出者に理解してもらう必要がある。組合では2シーズンにわたり広報誌に写真付きで掲載し、回収人が買入れる際に禁忌品を抽出できるようにしたい。また原料業界として製紙業界と協力し、行政機関にも理解してもらえよう古紙品質基準に改定し、初期分別の徹底によって良質の古紙が生まれることをアピールしていきたい。

昨年11月に中国の爆買いで古紙市況が高騰した際、経済産業省から国内に優先して供給してほしい旨の要請を受けた。われわれは三徳(智・仁・勇)の中の「仁」によって輸出契約を見直し、国内製紙会社への供給責任をしっかりと果たしたと自負している。今年も国内75%、海外25%の割合で供給する計画だが、揺れ動くアジア市況の中、中国は旧正月休みに入るため輸入を手控えている。

市況の潮目が変わったことで、国内メーカーの仕入方針も変化してきた。古紙価格の乱高下を招かないよう、国内メーカーには落ち着いた行動をお願いしたい。われわれ製紙原料商は古紙の品質を一層高めて、国内メーカーはもとより海外メーカーにも原料の価値を認めてもらうようにしたい。そして今年も自治体と協力してGPSによる「持ち去り問題」の撲滅に取り組んでいく。生業(生きるための仕事)としての業ではなく、正業(正しい仕事)としての時代へも業界の規範を継承していきたい。

## [来賓祝辞]

富田茂之・衆議院議員（資源リサイクル推進議員連盟幹事長）

「原料業界の方々が安心して商売できるように」



[来賓祝辞] 富田茂之・衆議院議員

昨年11月30日にリサイクル議連の総会を開催し、全原連の栗原理事長をはじめ関係団体の皆様に参加していただき、「古紙の持ち去り」状況に対して条例がどのように執行されているか具体的に話してもらった。85%（人口比）の自治体で持ち去り行為の禁止条例があるが、実効性が伴っていない。またペナルティとして名前を公表しても、同じような所在地で複数の業者がグループを組んで常習的に行っており、条例では対応できない。

議連では、法律を制定して罰則規定を設けることを検討している。ただし警察庁や法務省との調整が必ずしも進んでいない。今年に関東商組や全原連の皆様が安心して商売ができるよう、もう一步手続きを進めていく。1月28日から150日間の会期で国会が始まるが、今年は改元などに伴う10連休などもあって審議の日程が窮屈だ。平成30年度の二次補正予算と31年度の本予算の審議では1週目で代表質問、2週目で補正予算を通して、本予算の審議日数が15日しかない。二次補正予算では消費税率アップに伴う軽減税率が正式に適用される。また対策費として、レジの改修費用などに560億円の予算を予定している。四分の三が補助金でカバーされるので皆様の企業でも利用していた

だきたい。

## [来賓祝辞]

井上宏一・経済産業省製造産業局素材産業課企画調査官

「『クリーン オーシャン マテリアル アライアンス』を立ち上げ」



[来賓祝辞] 井上宏一・経済産業省  
素材産業課企画調査官

今年が平成最後の賀詞交歓会となるが、平成の30年を振り返ると災害が多かった時代だと思う。24年前の今日は阪神大震災が発生した。当時は経済産業省として、サプライチェーンの維持・復興などに努めた。今年は亥年だが、過去の例から災害が多い年と言われている。無事に健やかな1年が過ごせるよう祈念します。

昨年の古紙業界を振り返ると紙・板紙の国内需要減少、中国を中心とした国際市況に大きく影響を受けて近年稀にみる変化の大きい年だった。特に海外では中国の固形廃棄物の輸入規制や米中貿易摩擦による米国への追加関税措置の影響で、古紙の輸出価格は新聞や段ボールを中心にkg 10円以上も急騰し、前例のない記録的な高値水準となった。ただし今後、中国への古紙の輸入規制が一段と強化される見通しなので、状況は大きく変化すると予想される。中国の古紙輸入規制については内外差別の解消に向けてWTOの委員会や二国間での働きかけなど、引き続き必要な対応を行う予定です。

我が国における昨年の古紙回収率は約82%、利用率は65%に迫っています。経済産業省で

は2020年度までに古紙利用率65%を目指しているが、概ね達成に近い状況です。皆様の日頃のお取組みに感謝を申し上げます。国際的な需給も総合的に判断して国内での良質な資源循環を確保するため、変化に柔軟に対応しつつ、まずは国内の需給と市況の安定に努めていただくことを強く期待しています。

地球規模の新たな課題である海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、この問題に積極的に取り組む関係事業者間のビジネスマッチングや情報共有など、連携強化を図るためのプラットフォームとして「クリーンオーシャンマテリアルアライアンス」を立ち上げることとなった。すでに150の企業・団体が加入しており製紙関連業界からは10社1団体の参加申し込みがある。製紙業界や古紙業界にとっては大きなビジネスチャンスであり、積極的な参加と代替素材の普及促進や新たな需要開拓など積極的な取組みを期待したい。

#### [来賓祝辞]

和田健太郎・(公財)古紙再生促進センター  
関東地区委員長  
「グッドコミュニケーションで相互理解し三方  
良し」



[来賓祝辞] 和田健太郎・古紙センター  
関東地区委員長

私は昨年9月、前任者の田口満氏から引き継ぎました。大役であり身が引き締まる思いであります。皆様方の力をお借りしながら、少しでも業界の役に立てるよう努力したい。恒例とな

った、昨年の漢字一文字は「災」でした。製紙業界は、某大国のリーダーの言動や方針によって大きく揺さぶられた1年だった。古紙価格は前例がないほど高騰し、製紙メーカーの自助努力で補い切れない部分は製品価格に転嫁させていただいているが、本業の紙で十分な利益が出ない状況にある。

本年は4月に新しい元号が発表されて、5月から新しい時代に入ります。ラグビーのワールドカップが開催され、統一地方選と参議院選挙が実施され、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて多くの行事が始まる。日本の景気が上向きようなイベントが開催されることで、紙需要の増加も期待される。古紙については昨年のような乱高下がないことを願っているが、中国が2020年末に向けて輸入古紙をゼロにするプロセスはまだ不透明であり、注意深く見ながら対応しなければならないだろう。

昨年12月に古紙センターの海外視察で古紙業界の方々と一緒に欧州を視察した。古紙の分別リサイクルは日本では当たり前に行われているが、米国はシングルストリーム（混合一括回収）だし、今回視察した欧州では一部の地域が紙と他の資源を分別回収していたが、多くは紙だけを回収していた。やはり分別を徹底することで高品質の古紙が出来ると思う。日本も生活スタイルが徐々に変化しており、高層マンションや共働きの世帯、また外国人の居住などが増えている。先人たちが築き上げたりサイクルのシステムを死守しなければならないと感じて帰国しました。

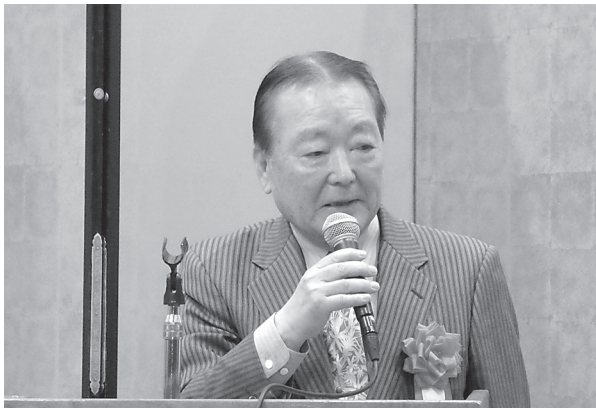
関東地区委員長として皆様方と一緒に取り組んでいきたいと思っていることを、ここで改めてお伝えしたい。まず1点目はコミュニケーション。古紙は集める側と使う側が両輪として動かないと、システムがうまく機能しない。古紙センターでは毎月、関東地区委員会を開催しており、古紙問屋側と製紙メーカー側で意見を交換して相互理解を深めていきたいと思っています。

次に、今年は古紙を集める方々と古紙を作る方々、そして古紙を使う側が幸せになる年にしたい。最近聞かなくなったが「車間距離」を適度にとって煽り運転をしないよう、三者がそれぞれに継続して利益が出るような関係を築きたい。

そして最後にリサイクルの維持。古紙は発生物なので、一貫した流れが止まるとシステムが維持できなくなる。昨年のような価格の乱高下は避けなければならない。関係される方々の知識や意見を借りながら古紙循環システムの安定に寄与するため、皆様と一緒に行動したい。

#### [乾杯の発声]

栗原正雄・全国製紙原料商工組合連合会理事長  
「適切な車間距離で昨年の轍を踏まないように」



[乾杯の発声] 栗原正雄・全国製紙原料  
商工組合連合会理事長

昨年の古紙市況を振り返ると、前半は中国の古紙輸入政策の影響で需給が余剰に傾き、大幅な値下げが続いた。値下がりのスピードに仕入価格の是正が追いつかず、適切な利益を維持できない期間が5ヵ月も続いた。

今年は中国の古紙輸入政策が昨年より一段と厳しくなっている。中国の古紙輸入は、昨年が前年比1,000万t減の1,550万tだったが、今年はさらに550万t減少して1,000万tになると予想されている。同時に中国政府は家庭から出るごみを減らすため、再生資源の回収量を2015年対比で2020年には1億t増やす政策を

進めている。昨年は米中貿易戦争の影響で米国からの古紙輸入量が減ったこともあり、その分を日本から輸入したので年後半は市況が回復した。

今年の年明けは昨年後半と同じような状況になっているが、古紙業界は昨年の轍を踏まずに適切な車間距離を維持して、古紙業界の経営基盤を守らなければならないと思う。関東商組の皆様方も地域の協調性をさらに高めて、健全な経営ができるようにしていただきたい。昨年中は全原連の中核団体として、関東商組の皆様に活動を支えていただいた。常設の6委員会の委員長はすべて関東商組の方々に引き受けてもらい、全国的な諸問題の解決に取り組んでいただいている。今年も引き続き関東商組の皆様方にご指導ご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

#### [中締め]

藤川達郎・副理事長

「需給両業界で価格の安定を」



[中締め] 藤川達郎・副理事長

昨年はまさに、ジェットコースターのような古紙市況だと言われた。私は若い頃ジェットコースターが大好きで楽しんで乗っていたが、年齢を重ねるごとにあの種の乗り物は心臓に悪いと思うようになった。今年は皆様方の健康のためにも、需給両業界で安定した価格にしたいと思っています。



## [閉会の辞]

梶野隆史・副理事長

「組合も大きく変わって大変な年を乗り切る」



[閉会の辞] 梶野隆史・副理事長

大久保理事長と和田委員長から今年は厳しい年になるとのお話があったが、皆様の笑顔を見ていて何とか乗り越えられるのではないかと確信した。「大変」という字は「大きく変わる」と書くので、今年は組合が大きく変われるように祈念して閉会の辞とします。

## 全国製紙原料商工組合連合会

(1月24日)

全国製紙原料商工組合連合会（以下「全原連」）は1月24日(木)、東京・台東区の浅草ビューホテル「祥雲の間」で新年会を開催した。開会に先立ち、栗原正雄理事長の長女でオペラ歌手の栗原利桂さん、ニコラ・ロッシ・ジョルダーノご夫妻が早川揺理さんのピアノ伴奏で映画「慕情」から「愛は輝かしいもの」、カンツォーネ（ナポリ民謡）の「O sole mio（私の太陽）」、オペラ「椿姫」（ジュゼッペ・ヴェルディ作）から「乾杯の歌」の3曲を歌唱、参加者は素晴らしい歌声に聞き惚れた。

新年会は岩渕慶太・副理事長（九州製紙原料直納商工組合：イワフチ）の司会で進行。石川喜一郎・副理事長（中部製紙原料商工組合：石川マテリアル）の開会の辞に続いて栗原正雄・

理事長（関東製紙原料直納商工組合：栗原紙材）が挨拶を述べた。来賓を代表して甘利明・衆議院議員（資源リサイクル推進議員連盟会長）、湯本啓市・経済産業省製造産業局素材産業課課長、矢嶋進・日本製紙連合会会長（王子ホールディングス）が祝辞を述べた。菊池初彦・副理事長（静岡県製紙原料商業組合：丸元紙業）の開宴の辞に続き、渡良司・（公財）古紙再生促進センター理事長（王子ホールディングス）による乾杯の発声で定刻まで懇親を深めた。アトラクションでは地元浅草の振袖さんによる舞が披露された。大久保信隆・副理事長（関東製紙原料直納商工組合：大久保）の中締めが続いて、矢倉義弘副理事長（近畿製紙原料直納商工組合：大和紙料）の閉会の辞で新年会は終了した。

## [開会の辞]

石川喜一郎・副理事長

「猪突猛進で課題を解決」



石川喜一郎・副理事長

今年は12番目の亥年です。骨組みが出来上がる状態を示し、季節は冬で新たな時代に備える年の意味があります。新たな時代で言うと今年は元号が変わり、世界の情勢や社会が大きく変化しています。

特に昨年は古紙業界にとって激動の1年でした。今年は環境問題を機に新たな時代を迎えると思います。変化に対して対応しなければならぬ時を迎えますが、引き続き全原連の事業に

ご理解とご協力をいただくと共に、さまざまな課題を解決するために猪突猛進で行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

**[理事長挨拶]**

**栗原正雄・理事長**

「需給両業界で安定的な古紙価格帯を長期的に持続する」



栗原正雄・理事長

会員の皆様方におかれては年初の忙しい中、全国各地から馳せ参じていただき、誠に有難うございます。本日は資源リサイクル推進議員連盟に加盟されている国会議員の皆様をはじめ多数のご来賓の方々にご臨席を賜わり、新年会に花を添えていただき感謝を申し上げます。

昨年古紙業界は一昨年と同じく中国に振り回される1年でした。特に昨年後半から米中の貿易戦争が勃発し、米国から中国へ輸出する古紙に25%の関税を課すことによって、米国から中国へ輸出される古紙が急減しました。中でも新聞古紙は、一昨年の3倍以上の古紙が日本から中国へ輸出されました。11月がピークでしたが数十年ぶりの高値まで急騰したことで、日本国内の製紙メーカーには大きな負担を掛けてしまい恐縮しています。

昨年の12月に中国政府が本年の古紙の割当量について指針を発表しました。昨年、先進国から中国へ輸出された古紙は1,550万tであり、一昨年対比で1,000万t減少しましたが、今年はさらに4割以上カットして1,000万t程度し

か輸入しないとのことです。中国政府は2015年対比で2020年までの5年間に国内の資源回収を1億t増やすと発表しました。その中で古紙の割合は最大であろうと思っています。そして中国が昨年から取った政策は、海外から輸入する古紙を減らして国内に不足感を発生させるものでした。当然、国内の製紙メーカー間で古紙の取り合いになって段ボール古紙で5万円/tまで上昇しました。

そして中国政府の考えでは環境問題で国民に協力を呼び掛けても、5千年の歴史の中で資源を捨てたら損であるとの意識が強く、簡単には解決できません。これは15年前に国家発展改革委員会の主任が訪日時に話していたので、15年ぶりにこのような政策を実施していることとなります。昨年の12月に古紙の輸入量を減らすと発表してから古紙の価格が下がり始めており、現在も下がっています。今後は限られた輸入古紙の割り当てを温存すると思われます。実際1月になってから輸入量が減少しています。

日本国内では製品の輸出入に伴い段ボールケースは出たり入ったりしていますが、段ボール古紙を年間140万t輸入することと同じ量が製品の梱包材として輸入されているので、約12万t/月のペースで古紙を輸出しないとバランスが取れません。与えられた割当量を先延ばしすることで中国の1~3月期輸入量が相当に減り、本年の春先には段ボール古紙の余剰が予想されます。雑誌古紙は段ボール古紙との兼ね合いで補助原料として使われますが、段ボールの需給に追随していきます。また新聞古紙については世界的に新聞用紙の生産が落ち込み発生も減少しているので、年間を通して不足した状態で推移すると思います。

中国は消費材の輸出で経済が成り立っていますので、梱包材としての段ボールが不足することは許されず、計画的に調達する必要がありますが、政府の方針転換によって今年も波乱の市況になると恐れています。本年は需給両業界が

安定的な古紙価格帯まで引き戻されて、長期的に持続することが望ましいと思います。古紙業界として安定価格帯の維持について、種々の対策を検討して参ります。

長らく懸案としていた「古紙の持ち去り問題」について、集荷と直納の両業界で意見交換会を定期的に開催していますが、持ち去られている古紙の量を試算したところ、去年は24.6万tで11月の時価で換算すると86億円でした。相当な量と金額ですので1日でも早く持ち去り行為を無くすように努力して参ります。関東地区では90%に近い自治体が持ち去り禁止の条例を制定していますが、実効性が伴っていないこともあって、昨年11月に資源リサイクル推進議員連盟の議員の方々と協議した結果、条例に加えて新しい法律が必要であるとの考え方で一致しました。これから法案の作成や提出までの準備を行って持ち去り行為がなくなるように、全力を挙げて臨みます。

全原連では我が国の製紙会社に古紙を1tでも多く利用していただくために、古紙の品質を高める「古紙商品化適格事業所」認定制度を運営していますが、本年度も認定する事業所の拡大を目指して努力していきます。また古紙近代化推進事業を実施して参りますが、常設6委員会の活動を通じて紙のリサイクルをさらに高め、業界の発展のために全原連会員の皆様と共に頑張っていく所存ですので、ご来賓の皆様方にも引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

#### [来賓祝辞]

甘利明・衆議院議員（資源リサイクル推進議員連盟会長）

#### 「リサイクルを循環させる環境整備を進める」

栗原理事長をはじめ全原連の皆様方には、日頃より大変お世話になっております。本日は資源リサイクル推進議員連盟の議員の方々もお招きいただいておりますが、「古紙持ち去り問題」の撲滅について法的な対応ができないことで難



甘利明・衆議院議員

しい点があります。古紙業界の皆様方と議連でチームを作り、勉強会を続けているところです。

行政の対応ができないところに色々と不合理が発生しています。いわば犯罪が発生しているわけですが、各方面においてリサイクルを循環させるために環境整備が必要で、まさに古紙業界に関しては日本のリサイクル政策の先頭を走っていただいています。先頭の走者が倒れると後に続く者が大変になりますので、これから環境整備の手配を進めて参りますが、皆さんで知恵を出し合い力を合わせて取り組んでいく1年にしたいと思っています。

#### [来賓祝辞]

湯本啓市・経済産業省製造産業局素材産業課課長  
「紙のリサイクルでは国内の循環維持が大事」



経済産業省素材産業課 湯本啓市・課長

全原連の皆様方には紙を循環させる利用の促

進に多大な貢献をいただき、改めて感謝申し上げます。今年が平成の最後の年となります。30年を振り返ると多くの出来事がありましたが、個人的にはグローバル化とデジタル化の進展が特徴的だったと思います。素材産業の仕事をさせていただく中で、まさにこの2点を日々痛感しています。紙の分野においてはグローバル化とデジタル化の大きな波をかぶりながら、いかに対応していくかが仕事の中心になっています。

特に昨年は米中両国の動きに翻弄されて大きく影響を受けた1年でした。とりわけ中国の動きに影響されて日本の古紙の余剰が懸念されましたが、むしろ米国への制裁で中国国内の古紙が不足して価格が急騰する結果になりました。現在はその逆の状況に振れていますので、先を見通すことがますます難しくなっています。

このような中で紙のリサイクルについては国内の循環をしっかりと維持して、体制を確立していくことが大事で、まずこの原点をしっかりと押さえていきたいと思っています。そのうえで色々な動きがありますが、皆様方から情報をいただき我々の方からも提供しながら情報を共有して、必要な対策を講じていきたいと思います。

#### [来賓祝辞]

矢嶋進・日本製紙連合会会長

「緊密に連携を取り問題意識を共有して対応」



日本製紙連合会 矢嶋進・会長

貴連合会の皆様方には、日頃より古紙という重要な製紙原料の安定供給を通じて我が国製紙産業の発達と発展に大きく貢献していただき、心より感謝を申し上げます。

昨年日本経済は相次ぐ自然災害が景気の下押しの圧力になったものの、雇用情勢の改善と所得の伸びによって個人消費の底堅い増加や企業の設備投資が堅調に推移したことで、緩やかに景気回復が続きました。

世界経済については米国と中国が牽引する形で拡大基調でありましたが、今年は米中間の貿易摩擦激化や英国のEUからの離脱など欧州における政治の混乱というリスクを抱えて、先行きが非常に見通しにくい状況であります。

このような中で我が国の紙・板紙需要は、人口の減少や少子高齢化およびデジタル化の影響など構造的な要因から、新聞用紙、印刷・情報用紙といったグラフィック系の用紙で需要の低迷が続き30年前の水準まで落ち込んでいます。一方、緩やかな景気回復やeコマースなど通販の進展で、段ボール原紙をはじめとするパッケージ系用紙の需要は堅調に推移していますが、我が国製紙連合会の今年の内需見通しでは残念ながら9年連続のマイナスとなる見込みです。さらに国内古紙価格の上昇や重油・パルプなど原燃料のコストアップにより、製紙業界は他の業界に比較して非常に厳しい状況です。2月上旬から第3四半期の決算発表が続きますが特に10月から12月にかけてコストアップ圧力が強く、あまりよくない決算になると予想されています。

一方、本年は新天皇のご即位で新しい年号が始まり、ラグビーワールドカップの開催が予定されると共にプラスチック製品による海洋汚染が社会問題となり、その代替として紙製品への期待が高まるなど明るい話題もあります。

本年こそは景気回復の波が我々製紙業界のみならず古紙業界の皆様方にも及び、少しでも良い年になることを切望して、先週は伊勢神宮に参拝し祈念して参りました。神職から二礼二拍

一礼のやり方をしっかり指導していただき、ご  
 祈念しましたので、今年は間違いなく良い年にな  
 ると信じています。

日本製紙連合会では古紙利用促進のため、  
 2020年度までに利用率65%の目標を掲げてい  
 ますが、古紙回収率の上昇、印刷出版物の多様  
 化に伴う品質の悪化や良質古紙の発生量減少が  
 65%の目標を達成する上での課題として挙げら  
 れます。

また去年は、米・中の貿易摩擦や中国の規制  
 強化によって中国の古紙輸入が全体として減少  
 する中、品質の良い日本の古紙への引き合いが  
 増加し、国内古紙価格の高騰や供給不足の問題  
 が発生しました。古紙は製紙産業にとって重要  
 な原料で、その供給や価格が外的要因によって  
 短期間に急激に変動することは持続的な産業活  
 動にとって好ましくないだけでなく、古紙リ  
 サイクルシステムの維持・強化を難しくするこ  
 とであると危惧しています。

製紙業界としては、我が国の持続可能なりサ  
 イクルシステムの維持と発展のために貴連合会  
 と緊密に連携を取り、問題意識を共有して対応  
 していきたいと考えています。

#### [開宴の辞]

菊池初彦・副理事長



菊池初彦・副理事長

今回は今までと少し違いまして、皆様方にお  
 願いがあります。会費の範囲内で大いに飲んで  
 食べていただいて構いませんが、本音で話さな

いで親睦だけ図っていただきたいと思います。

#### [乾杯の発声]

渡良司・(公財)古紙再生促進センター代表理事  
 「アニマルスピリッツでたくましく乗り切る」



古紙再生促進センター 渡良司・理事長

全原連の皆様には平素より古紙センターの活  
 動に多大なる貢献をいただきまして、誠に有難  
 うございます。

今年は全く不透明で予測が不可能な年になる  
 と思います。昨年も中国の問題では、高い山あ  
 り深い谷ありで大変な1年でした。古紙が余剰  
 になると悩んでいましたが、年末に向かってラ  
 イセンスの問題から古紙の爆買いが起り極度  
 の古紙不足に陥りました。今年も何があるかわ  
 かりませんが、古紙の需給両業界の知恵で乗り  
 切らなければならないと思います。

私達は大事な使命を持っています。古紙は大  
 切な資源であるとの共通認識の基に、日本の健  
 全な紙リサイクルシステムを維持・発展させな  
 ければなりません。また2020年には古紙の利  
 用率65%を達成しなければなりません。その  
 ために古紙センターとして未利用古紙の発掘や  
 古紙の品質強化、内外の古紙消費動向、紙・板  
 紙の生産と需要の動向など情報活動を強化して  
 いきますので、引き続きご支援を賜りますよう  
 お願い申し上げます。

さて、最近ある業界紙に、フランスの哲学者  
 アラン（エミュール＝オーギュスト・シャル  
 テイエ。アランはペンネーム）の「悲観主義は

気分によるものであり、楽観主義は意思によるものである]との言葉が載っていました。確かに厳しい現実に向かって悲観ばかりしては仕方がないので、明るく考えようとの意味で、自然災害とか米国のトランプリスクなど悲観的な材料は色々ありますが、日本の経済は堅調であり企業収益も良く、雇用環境も良い、所得も良いし、さらに今年は改元の年でもあり、ラグビーのワールドカップなど大きなイベントも予定されているので紙の需要も増えるのではないかと思います。現実を怖いとか困ったと嘆いていないで、不透明な未来をたくましく乗り越えるアニマルスピリッツを発揮する年だと思います。

[来賓祝辞]

富田茂之・衆議院議員

「新法の制定で持ち去り行為を規制」



富田茂之・衆議院議員

開宴の辞で本音の話はしないようにと言われていましたが、先日の関東商組の互礼会では大久保信隆理事長や栗原正雄全原連理事長から本音の話をたくさん伺うことができ、大変参考になりました。持ち去り古紙の金額が86億円になるとの話がありましたが、一つ一つの持ち去り古紙は大した額ではなく、仮に条例で規制しても警察は動きませんので、「リサイクル議連と共同で新しい法律を制定して規制することができれば」とのご指摘を頂戴しました。議連も人数を増やして超党派で対応できるようにし

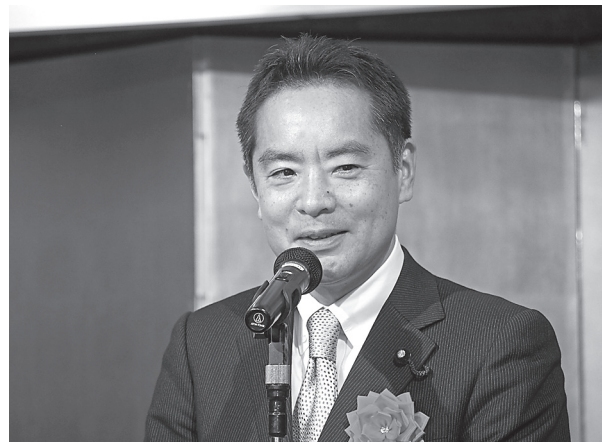
たいと考えています。

日本再生資源事業協同組合の会合に出席し顧問に加えていただくことになりました。地元の習志野市では習志野市資源回収協同組合の顧問弁護士もさせていただいています。これからも色々なことで皆様方のお役に立ちたいと思っています。

[来賓祝辞]

井上信治・衆議院議員

「議員立法で持ち去り行為の撲滅」



井上信治・衆議院議員

古紙の持ち去りは大きな問題だと思います。規制して撲滅するのが非常に難しいことも事実です。議連として引き続き勉強して、議員立法をはじめ効果の高い解決策を見出せるように今年も頑張ってみます。

[中締め]

大久保信隆・副理事長

「前後左右を確認し車間距離をとって安定供給」

本日は栗原理事長のご令嬢である栗原利桂さんと夫君のニコラ・ロッシ・ジョルダノさんに本物のイタリア文化を披露していただきました。

私がこの業界に入った時には荒川区はウエストゾーンと呼ばれていました。我々の同業でウエスを集める方々が、繊維の端切れを集めて安く売っていたところから、そのように呼ばれていたと思います。ウエストゾーンと名付けた行



大久保信隆・副理事長

政の担当者には、定年後に荒川区資源回収組合の事務局長として働いてもらっています。

全原連は全国の製紙原料商の集まりで、資源がない日本ではもっとも代表的な資源組合です。我々は中国の儲け主義の連中に騙されないようにしなければなりません。儲かったらいらぬので0.5%の異物混入率を設定して米国が驚いた結果、中国からの商品に25%の関税を掛けて報復しました。そのお陰で日本からの古紙は少し値段が上がったものの、その後は暴落しました。我々は前後左右を確認しながら、車間距離をしっかりと保って安定的に資源を供給し、製紙業界と原料業界が共に繁栄できることを祈念して中締めとします。

#### [閉会の辞]

矢倉義弘・副理事長

「地球環境の改善に貢献している自負を持つ」



矢倉義弘・副理事長

毎年、京都の清水寺の貫主が1年を象徴する漢字1文字を発表しています。去年は私の予想がぴったり当たって「災」でした。平成30年ほど災害が多かった年は過去にもありませんでした。大阪でも地震が発生して台風が上陸し、洪水が起きました。大阪だけではなく北海道でも地震が発生しました。

我々の業界は古紙を集めてリサイクルするので、CO<sub>2</sub>の発生を減らして地球の環境を良くする活動をしていることになります。今年は商売以外に、地球への環境負荷を減らすことに貢献していることを意識して頑張りましょう。

#### 製紙原料向上と口元



栗原利佳さんとニコラさん



岩瀬慶太・副理事長

# 関東商組理事会報告

## 平成 30 年度 第 8 回 理事会報告

開 催：平成 30 年 12 月 20 日(木)  
 15 時～ 16 時 45 分  
 関東商組事務局 会議室

出席状況：出席…31 名

### 1. 古紙持ち去り関係

#### (1) GPS 追跡調査実施状況

合計 4 回実施 持ち去り 11/26、12/14  
 正規ルート 11/19、11/28 (11月理事会から本理事会の間)

#### (2) (株)マルマリサイクル (松沢紙業関連会社) によるヤード新設の動き

- ・新ヤードの所在地は埼玉県所沢市
- ・2019年2月頃開設予定

### 2. 各支部市況報告 [報告]

		前月末 在庫状況	特記事項
東京都	東支部	ランニング	11/19 支部会
	西支部		2/7 支部会・新年会予定
	多摩支部		12/5 支部会、12/13 ゴルフ
神奈川県	東部	ランニング	12/13 支部役員会
	西部		1/22 役員会・新年会予定
千葉県支部			12/6
埼玉県支部	西部	ランニング	12/13 役員会
	東部		12/7 ゴルフ
群馬県支部		ランニング	
茨城県支部		なし	1/29 新年会予定、2/13 支部会予定
栃木県支部		ランニング	

### 3. 各会議報告

- 1) 総務財務委員会 (2月13日開催)
- 2) 正副・総合運営委員会 (12月13日開催)
- 3) 支部長会議 (12月20日開催)

埼玉県支部で試験的に行っている「燃料の共同購入」について、通常の市場価格よりも安く購入できるため組合員にとって有益であると見込まれることから、関東商組「組合事業」として取り組む案が

出され参加理事に了承された。

「2019年2月 理事会承認」を経て「2019年5月 通常総会」に定款変更を提案する。

### 4. 近代化推進事業報告

#### 1) 経営革新委員会 (12月12日開催)

- ・日中古紙セミナーの講演の報告を行った。(経営革新委員長)
- ・平成 31 年 3 月の適格事業所更新書類提出を早めをお願いします。
- ・品質管理責任者テキストの見直し案を作成中。2019年1月24日の全原連経営革新委員会で最終決定する見通し。

#### 2) 安全防災委員会 (開催なし)

- ・11月14日～15日に移動委員会を実施しました。(中部商組と合同で委員会開催)  
 → 春の安全ポスターの共同制作
- ・2019年2月16日安全セミナーステップⅡ  
 → ステップⅠを受講された方で、ステップⅡ受講希望の方は事務局まで連絡をお願いします。

#### 3) 需給委員会 (11月27日開催)

- ・12月積み輸出は三品見送り
- ・商社「サイコリンク」が新たに見積合わせに参加したいとの申し出があった。

#### 4) 渉外広報・IT委員会

- ・IT活用部会 (開催なし)
- ・需給委員会「共販価格表」をHPに掲示した。
- ・12/12にヤードレポート視察先の検討を行う。
- ・かんとく編集部会 (11月22日、12月12日開催)
- ・「かんとく203号 (新年号)」(平成31年1月20日発行予定)の編集作業中。
- ・2019年2月4日～5日、渉外広報・IT委員会で大分県の製紙メーカーを視察予定。



5. 三紙会 [報告] (12月18日開催)

平成30年11月 主要裾物三品仕入報告

- ・段ボール：前月比96.8%、前年比99.2%
- ・新聞：前月比98.5%、前年比89.0%
- ・雑誌：前月比96.1%、前年比93.8%

6. その他

年末年始の事務局休暇について

平成30年12月29日～平成31年1月6日

各種統計資料等

1. 関東商組32社古紙在庫月別報告書 (平成30年11月)
2. 品別・国別及び港別古紙輸出統計 (2018年10月)

◎次回開催：平成31年2月20日(水) 15時～

**平成30年度 第9回 理事会報告**

開催：平成31年2月20日(水)

15時～16時45分

関東商組事務局 会議室

出席状況：出席…29名

1. 古紙持ち去り関係

(1) 平成30年度 GPS 追跡調査実施状況

合計 4回実施 持ち去り 1/24、正規ルート 12/21、12/25、12/26 (12月理事会から本理事会の間)

(2) 平成31年度におけるGPS追跡調査に関する方針

引き続き実施する。

新たな法的措置について関係機関と調整している。それが施行され撲滅の実施が確認できるまでの間とする。

この方針を各協力自治体に通知し、引き続き協力をお願いする。

2. 各支部市況報告 [報告]

		前月末在庫状況	特記事項
東京都	東支部	少し多い	2/7 支部会
	西支部	多い	
	多摩支部	ランニング	2/15 支部会
神奈川県	東部	多い	1/22 支部役員会
	西部		3/7 支部役員会

千葉県支部		
埼玉県支部	北部	2/5 北部ブロック会
	東部	2/6 東部ブロック会
	西部	2/13 西部ブロック会
群馬県支部		
茨城県支部		2/13 支部会
栃木県支部	少し多い	

3. 総会関係

(1) 役員補選

村山孝生氏辞任 (平成30年7月4日) 後任は現在オブザーバーとして出席している諸隈社長にお願いする。

赤染清康氏辞任 (平成30年9月18日)

・任期は定款に基づき、残任期 (来年5月の定例総会まで) とする。

・赤染氏については推薦委員 (平松支部長) に後任候補案をまとめるようお願いする。

・推薦会議 (持ち回り) を開催し、後任候補者を決定する。

(2) 車両用燃料等の共同購買に係る定款変更定款第7条第2項第3号に下線部の事項を追加する。

組合員の取り扱う製紙原料古紙及び車両用燃料等の共同購買

本件を関東経済産業局に正式に伝える。

〈変更手続〉

4月理事会(上程) → 通常総会(5月16日予定)に提案 → 総会議決後速やかに関東経済産業局に認可申請を行う。

※下期10月からのスタートを見込み

4. 組合員の自由脱退

(有)森茂商店

(株)アイプレック

上記2社を定款第12条及び第14条に基づき脱退の手続きを行う。

5. 第26回TAMAとことん討論会への協賛協賛金の支出が承認された。

6. 各会議報告

1) 総務財務委員会 (2月15日開催)

2) 正副・総合運営委員会 (2月15日開催)

7. 近代化推進事業報告

- 1) 経営革新委員会 (1月23日・2月8日開催)
  - ・優良評価性3事業の運用細則見直しを検討
  - ・6月11日リサイクルアドバイザー試験を実施予定 (台東区生涯学習センター)
  - ・出前講座を青梅市で実施予定。
- 2) 安全防災委員会 (1月24日開催)
  - ・安全ポスター製作中。3月後半には各組合員へ配布予定
  - ・2019年2月16日安全セミナーステップIIを開催した。
  - ・次年度は九州商組と安全ポスター制作を計画 (今年秋)
- 3) 需給委員会 (12月26日、1月28日開催)
  - ・1月、2月積み輸出は三品見送り
  - ・商社「サイコリンク」が新たに3月分(4月積)から見積合わせに参加することが承認された。
  - ・日本紙パルプ商事(株) 4月分(5月積)から見積合わせ参加を認める。(再開)
- 4) 渉外広報・IT委員会  
IT活用部会 (2月4日、5日)  
かんと編集部会 (2月4日、5日)  
2019年2月4日～5日、渉外広報・IT委員会で大分製紙を視察。  
詳細報告については、4月20日発行予定の「かんと204号」、関東商組HPにて公開予定。
- 5) 全原連IT推進委員会  
全原連ネット事業の加入促進のため、関

東商組の組合員へご案内 (近日) をいたします。

8. 三紙会 [報告]

- 平成31年1月 主要裾物三品仕入報告
- ・段ボール：前月比85.8%、前年比99.8%
  - ・新聞：前月比88.2%、前年比92.3%
  - ・雑誌：前月比88.8%、前年比99.8%

9. その他

- (1) CCIC・JAPAN(株)による検査の厳格化とそれに伴う検査料の見直し  
登録されていない問屋は検査料が高い。需給委員会の共販事業に参加している問屋で団体登録出来るように交渉を進めていく。次回2/25の需給委員会で検討する。
- (2) 段ボール古紙の取引  
日経新聞 (2019年2月13日) 記事について、顧問弁護士に見解を求めている。
- (3) 働き方改革関連法に関する説明会の開催  
2019年5月16日(木)16時～16時半 日暮里ホテルラングウッドで開催予定。
- (4) 組合事務局員の新規採用及び職務分担

各種統計資料等

1. 関東商組32社古紙在庫月別報告書 (平成31年1月)
2. 関東商組32社仕入予測数量 (平成31年4月～6月)
3. 財務省貿易統計 古紙輸出まとめ (2018年12月)

◎次回開催：平成31年3月18日(月) 15時～

新聞雑誌選別、さらに革新。

■ 紐切装置付選別コンベヤーライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベヤー
- 空カン・空ビン選別コンベヤーライン
- 各種シュレッダー投入用コンベヤー
- 再生資源産業用各種コンベヤー
- 各種省力機械設計・制作



株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3  
TEL (0564)64-3692 FAX (0564)64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

- |       |                     |                  |
|-------|---------------------|------------------|
| 本社・工場 | TEL(087)845-1111(代) | FAX(087)845-7442 |
| 東京支店  | TEL(03)3243-2080(代) | FAX(03)3243-2081 |
| 大阪支店  | TEL(06)6339-0131(代) | FAX(06)6339-0139 |
| 名古屋支店 | TEL(052)586-1451(代) | FAX(052)586-1467 |
| 九州支店  | TEL(092)281-5328(代) | FAX(092)281-3822 |
| 中四国支店 | TEL(087)845-1140(代) | FAX(087)845-7442 |

## 三 紙 会 報 告

### 12 月 度 定 例 会

日 時：平成 30 年 12 月 18 日(火)  
 15 時 30 分～17 時 00 分  
 会 場：関東製紙原料直納商工組合 会議室  
 幹 事：島田 秀彦・(株)工藤商店  
 佐々木 健・栗原紙材(株)  
 報告者：新井 英樹・新井紙材(株)

#### 【平成 30 年 11 月

##### 裾物主要三品仕入実績報告 (36 社)】

[段ボール] 前月比 96.8% 前年比 99.2%  
 [新 聞] 前月比 98.5% 前年比 89.0%  
 [雑 誌] 前月比 96.1% 前年比 93.8%

#### 【ブロック別仕入平均単価報告】

##### ○各地区発表

平均単価：段ボール…16.42 円、新聞…17.85 円、  
 雑誌…8.92 円

[総括] 輸出価格の上昇に伴って、仕入単価が  
 3 品ともに 4 か月連続で上昇した。

#### 【各委員会活動報告】

##### ●業務委員会：

##### (1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 900～930 前月比 -30～±0  
 [LBKP] \$ 価格 745～795 前月比 -50～-30  
 [総括]

〈NBKP〉前月比概ね値下げで決着。中国の紙製品の市況悪化によりパルプ需要は著しく低下し、成約数量も半数以下となった。タイトな需要バランスを維持していた欧州向けについてもが緩み始めており、値下げせざるを得ない状況となった。日本向け価格はサプライヤー毎に対応が異なるものの、11 月積～12 月積分において \$60～\$90 程度の値下げ対応を行う見込みとなっている。

〈LBKP〉前月比概ね値下げで決着。中国向けのパルプ需要が低下し、在庫は記録的な高水準となった。買い手が付かない状態が続いた事から更なる値下げを行い、結果 \$50～\$60 程度の値下げとなった。12 月も販売状況は悪く、また紙製品の販売不振の為旧正月の休転期間を長期に取るユーザーもいる事から、少なくとも旧正月頃まで軟化傾向は続く見込み。

##### (2) 上物市況報告

[洋紙向け] 発生は低調継続。中国の環境規制の影響によるパルプ価格高止まり継続で代替品である上物（上白、一品見当、釜入模造など）が逼迫。

[白板向け] 発生は低調。製品値上げが通り好調を維持。需要期に入り各社増産。

[特更向け] 発生は低調。出版物の販売不振継続。大手洋紙メーカーが新聞代替で使用を増やしており、タイト感が強い。

[家庭紙向け] 需要期に入り各社フル生産。中国向け輸出雑誌価格高騰により入荷が不調。タイト感が強くなっている。

##### ●研究委員会：

・新聞・チラシ重量調査 12 月調査の協力依頼

##### ●定例会終了後 忘年会を開催

次回の三紙会は【1 月 18 日(金)15 時 30 分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入平均単価報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告

### 1 月 度 定 例 会

日 時：平成 31 年 1 月 18 日(金)  
 15 時 30 分～17 時 00 分  
 会 場：関東製紙原料直納商工組合 会議室  
 幹 事：小池 茂男・(株)小池商店  
 村梶 純平・(株)國光

報告者：伊藤 弘幸・(株)二見

【平成 30 年 12 月

裾物主要三品仕入実績報告 (36 社)】

[段ボール] 前月比 109.2% 前年比 98.4%

[新聞] 前月比 107.6% 前年比 89.0%

[雑誌] 前月比 118.0% 前年比 96.1%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…16.39 円、新聞…17.81 円、

雑誌…8.87 円

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 850～870 前月比 -50～60

[LBKP] \$ 価格 705～745 前月比 -40～50

[総括]

〈NBKP〉12月積日本向けNBKPは前月比値下げで決着。北米サプライヤーは、冬場の製造ライン凍結防止のためフル生産をせざるを得ない状況だが、中国ではパルプ需要の低下に歯止めがかからず、需給バランスが悪化。また、ロシアやチリのサプライヤーは自社在庫を抱えきれなくなり、価格を下げてでも売らざるを得ない状態に陥った。この結果、12月の中国向けは\$100以上値を下げて決着。日本向けについてはサプライヤー毎に対応が異なるものの\$50～\$60程度の値下げ。1月においても更なる値下げとなる見込み。

〈LBKP〉12月積の日本向けLBKPは前月比概ね値下げで決着。中国における12月のLBKP市場はNBKPと同様、紙市況悪化に伴いパルプ需要は低調に推移。港には買い手の見つからないパルプが山積みになっており、殆どのサプライヤーは12月度で値下げ対応を実施し、在庫解消に動いた模様。1月以降については旧正月を控え全体に荷動きが悪い状態。例年より長く旧正月休転を計画するユーザーも散見される。旧正月明け頃までは需給バランスは軟化傾向で推移すると考えられて

いる。

(2) 上物市況報告

[洋紙向け] 発生は低調継続。パルプ価格は下落傾向だが発生が悪く上物は逼迫。

[白板向け] 発生は低調。払い出しは好調を維持。タイト感強い。

[特更向け] 発生は低調。出版物の販売不振継続。

[家庭紙向け] パルプ物の値上げ交渉が続いており、古紙物需要が入り各社フル生産。印刷製本会社は年末年始長く止めたところが多く、1月の発生は非常に悪い。古紙問屋の上物在庫も減っており、タイト感が出ている。

●研究委員会：

・新聞・チラシ重量調査 (平成30年9月度) 集計結果配布

●財務委員会：

・季節変動係数算出依頼

次の三紙会は【2月18日(月)15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入平均単価報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会活動報告

## 2 月 度 定 例 会

日 時：平成31年2月18日(月)

15時30分～17時00分

会 場：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：斎藤 元司・(株)斎藤英次商店

鈴木 大介・(株)共益商会

報告者：相田 寛文・(株)丸興佐野錦一商店

【平成 31 年 1 月

裾物主要三品仕入実績報告 (36 社)】

[段ボール] 前月比 85.8% 前年比 99.8%

[新聞] 前月比 88.2% 前年比 92.3%

[雑誌] 前月比 88.8% 前年比 99.8%

[総括] 1月ということもあり、前月比は三品ともに10%以上減少。前年比については新

聞のみ落ち込みが大きい。

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…15.08 円、新聞…16.84 円、  
雑誌…8.31 円

[総括] 年明け以降、三品ともに仕入単価の値  
下げが進んでいる。

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告 なし

(2) 上物市況報告

[洋紙向け] 発生は非常に低調。代替品である  
上物（上白、一品見当、釜入模造など）は引  
き続き逼迫。

[白板向け] 発生は低調。払い出しは好調だが、  
洋紙向け同様にタイト感が強くなっている。

[特更向け] 発生は低調。出版物の販売不振は  
深刻。

[家庭紙向け] 製品の流れは例年並みであり、

足元の逼迫感はそれほどない。しかし消費増  
税の仮需を見越した製品の積み増しを GW  
中の生産で賄うとすると軟化はしてこないと  
予想される。また輸出向け原料に関しては雑  
誌連動で下落基調。

●広報委員会：

・3月1日(金)18時～委員会を開催

●研究委員会：

・新聞・チラシ重量調査（3月度）の依頼

●その他：

・三紙会総会について

今回の三紙会は【3月22日(金)15時30分～】  
とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入平均単価報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会活動報告

定例会前（14時00分～）に役員会を開催予定

**省エネベラー誕生**  
**SW770 HEシリーズ**  
HIGH SPEED, HIGH PRESSURE  
AND ENERGY SAVING

契約電力DOWN!!  
消費電力  
25%  
以上削減!!  
消費電力DOWN!!

株式会社 昭 和  
本社 〒134-0091 東京都江戸川区船堀2丁目23番21号  
http://www.showa-press.co.jp 電話 03-3689-0303

仕入処理 東芝製紙原料卸システム 購読

1. 画面タッチでらくらく伝票発行  
2. かが引き・水引き・ダスト引き  
・評価替えに対応  
3. 逆有償、販売品管理対応  
4. 運賃管理が可能  
5. 安心サポート

全原連認定

発行者 東芝ソリューション販売株式会社  
ビジネスソリューション事業部  
〒140-0002  
東京都品川区東品川2-2-4 (天王洲ファーストタワー)  
TEL 03-4233-0945 FAX 03-5463-1138  
ソリューション営業第一部 担当：山崎、柿崎

二十一世紀の環境を守る。  
信頼のパートナー。  
古紙用ベラー番線。

豊かな環境を  
ワンダフル21世紀

- ・最良の品質
- ・豊富な在庫
- ・万全なサービス

株式会社 櫻 井  
http://www.kk-sakurai.com/  
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12  
TEL 03-3803-3511  
FAX 03-3807-8153

巻数/径	コイル 1巻	コイル 1巻	付付- 1巻	付付- 1巻
φ12 20%	50	100	500	1,000
φ10 32%	50	100	500	1,000
φ8 40%	50	100	500	1,000

**ベラー番線**

最良の品質・防錆OK  
ートラブル、ロスが少ないー  
50K・100K・500K・1000K

**坂野興業株式会社**

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170  
浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201  
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704

## 特集企画～古紙の品質対策 第4回 「異物混入」 禁忌品B類

古紙品質特集 2 回目。製紙会社からラミネート加工、抄色の写真を多数提供していただきました。製紙工場では、大量の溶けない紙がパルパーに残り、パルパーを止めたり、除去のために多くの入手を必要としたりしてしまいます。また、抄き色やカーボン紙は、染料や特殊な加工によって紙に色が残ったりして、不良品となる原因の一つになっています。

ここに掲載した写真は、どう見ても雑誌と言えない古紙ですが、雑誌として納品されたものです。この特集をきっかけにして、現場社員さんの品質教育に役立ててもらいたいと考えています。写真は(公財)古紙再生促進センターからご提供いただきました。



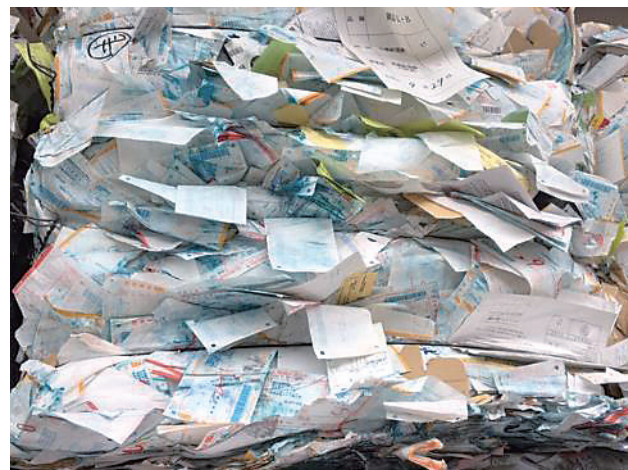
両面ラミネートの台紙裁落



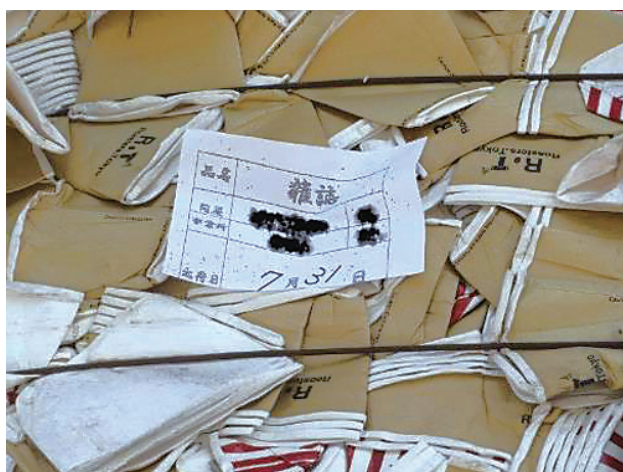
両面ビニールラミネートの台紙裁落



クロス壁紙、感熱紙、感圧紙（伝票）



ノーカーボン紙



紙コップ 防水加工



ビニール付の食袋



ビニール付の食袋 (食袋には砂糖付着)



カーボン紙

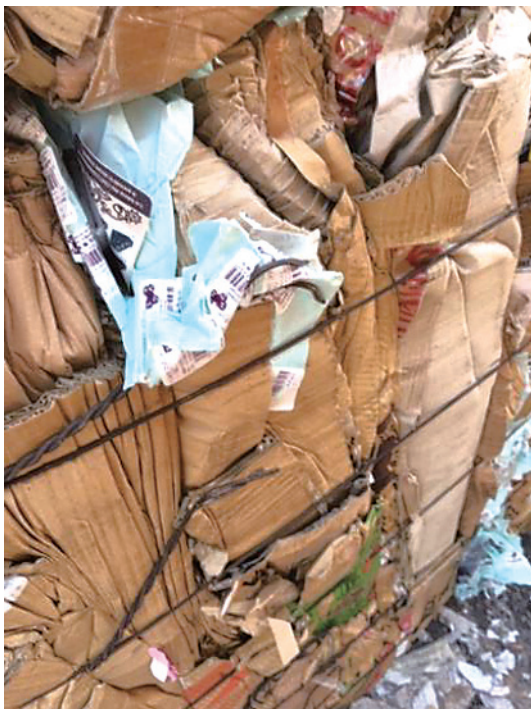
〈クラフト系でも段ボールの中には入れられません〉



糸入りの背表紙 (辞典、小説、写真集)



糸入りの背表紙（辞典、小説、写真集）



段ボールにシール混入



粘着物、剥離紙





布入り貼合紙



シュレッダー (ビニール袋が問題)



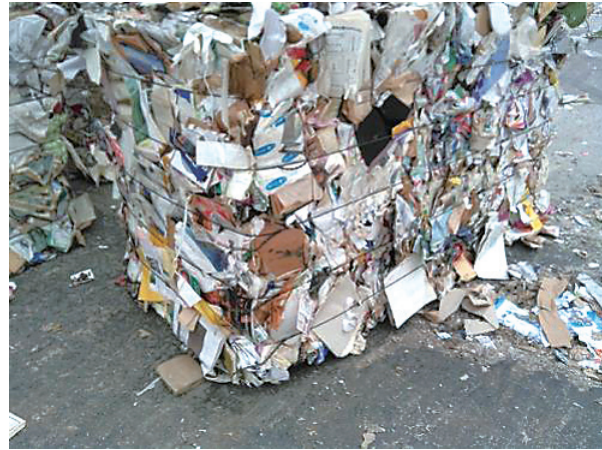
金銀台紙



外観



外觀



外觀



外觀

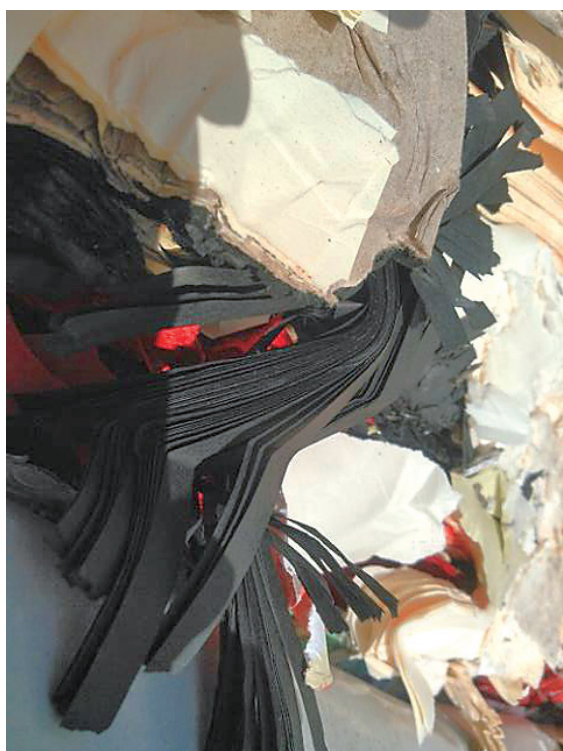


抄色 (貼合加工)



抄色 (貼合加工)





今回の特集号では、(公財)古紙再生促進センター吉田様、関東地区委員の製紙会社担当者様、関係者様、大勢の方々のご協力を賜りました。感謝申し上げます。

製紙原料とは、製紙工場の要求する品質基準に適合した古紙である。回収から問屋の都合で作った古紙は製紙原料ではない。このことを再認識できる特集を作ることができました。製紙原料商のあるべき姿の一つを組合員へ伝えることができたと考えています。

# 委員会トピックス

## 渉外広報・IT委員会

大分製紙株式会社研修視察旅行  
〈2月4日～5日〉

2月4日午後羽田発。大分空港着 別府前泊。

取材日時：平成31年2月5日(火)

午後1時～3時45分

訪問先：大分製紙株式会社

面談者：代表取締役社長 田北裕之様  
専務取締役 田北信行様  
本社、総務部 川野祥子様

参加者：

委員長 須長利行 (株二見)

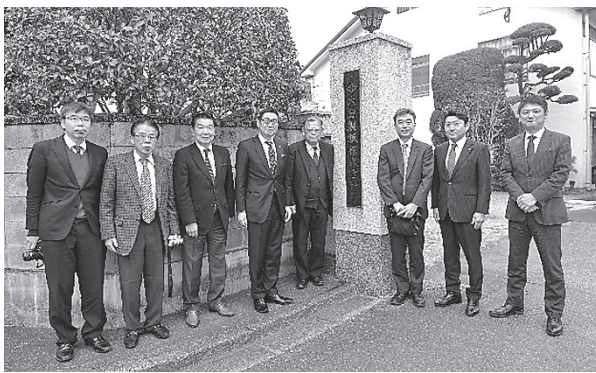
委員 川嶋秀明 (株ナコジ)

田中秀幸 (栗原紙材(株))

賛助委員 高橋彰司 (株紙業タイムス社)

大村浩一 (株紙業タイムス社)

特別参加 近藤 勝 (美濃紙業(株))



### 【大分製紙株式会社 概要】

社長の田北裕之氏は、現在(2018年より)「日本家庭紙工業会」の会長の要職にあり、九州を代表する古紙利用家庭紙メーカーのトップでもある。

#### ■ 会社の経歴

1953年 会社設立(1918年創業)

1959年 主力の豊前工場操業開始



- 売上高  
約145億円 従業員230人
- 本社工場  
大分市錦町で抄紙機1台(パルプもの)。  
トイレットペーパー生産(委託を含む)、月間1,000トン。
- 豊前工場  
福岡県豊前市 抄紙機4台、古紙もの月間4,200トン以上。
- 大分製紙グループ：九州製紙・北九州工場  
(北九州市)
- 生産量  
トイレットペーパー中心に年間70,000トン以上を生産。  
九州の60%をシェアする他、生産量も再生紙業界でトップクラス。
- 工場の特徴
  - ・高付加価値化の取り組みが目を見く。12ヶ入りロールのビニール袋を使用後に古紙回収袋やゴミ袋に使えるアイデア(らびっとぱっくのデザインが高評価)。
  - ・ウォシュレット専用の短く切れて1回で用が済むペーパーなど。
  - ・本社マシンの稼働はOEM(相手先ブランド製造)が中心で、1台の通常マシンということで見学は割愛となった。(市街の中心一等地のため静かな環境を苦心し、操業)



冒頭、須長委員長より、取材のお礼とご挨拶の後、早速、田北社長より企業紹介がなされました。

#### (田北社長)

大分製紙は、1918年創業のうぶ声を上げてから100年になります。ただ途中に空襲で焼けて工場が止まって、銀行の管理下にあった時代がありました。その後、1953年に私からみた祖父の田北重信と父の田北豊とが、大分銀行と共に立て直そうという事で、工場を再開し、そこから数えると66年になります。

現在の大分製紙は大分製紙グループとして、紙を製造している会社が2社、大分製紙と九州製紙があります。大分製紙は、ここ本社工場と1959年福岡県豊前市にあった郡是製糸豊前工場を買い受けて建設した豊前工場があります。また、九州製紙は2006年、北九州市にある旧新日本製鉄(株)八幡製鉄所構内に工場を建設、九州製紙北九州工場とし、グループ3番目の工場として稼働しています。

他、グループ会社として、日本フィルム株式会社があります。ここは、当初はトイレットペーパーを包装するポリエチレンフィルムを製造していましたが、その後、商品の幅を広げ、自治体指定のごみ袋なども製造しています。また運送会社を設立し、グループ各工場の出荷を受け持ち、こういった形でグループを形成しています。

また、資本関係はありませんが、アライアンスの関係として、コアレックスグループを形成。大手に負けずにと、同一の品質の再生紙を北海道から沖縄まで、全国に提供しようという意図のもと、当社は九州エリアを担当、グループ商品の製造・販売を行っています。当社全体としては、年間70,000トンから75,000トンの製品を製造・販売。主は古紙使用の製品ですが、一部10,000トン程パルプ使用の製品を作っています。品種はトイレットペーパー、またはタオルペーパーを中心に販売しています。

社の特徴として、ご案内したいものとして、やはり再生紙を作っているという事から、環境

に配慮にした工場という意味で、九州製紙、北九州工場があります。

この工場は前述の通り、八幡製鉄所という今でも動いている製鉄所（事務所は世界遺産）の中の敷地内にあり、製鉄所の中で紙を作るといのは、世界で始めてだと思えます。そういった製鉄所インフラとの関係性という中で、製紙工程で発生する廃棄物を外に出さないゼロエミッション型の工場として立ち上げました。



当工場は、パルプ物に負けない質の良い製品を作る事を目指し、原料古紙を極力精選、白色度を上げ、抄紙機では、できるだけやわらかさを出すよう等、設備更新を繰り返し、その上で更にパルプをブレンドすることで、パルプ物に置き換わる再生紙商品を作るよう努めています。それは、その結果としてその商品を多くの消費者に買ってもらえれば、例え古紙100パーセント製品でなくても、古紙の利用拡大・促進に大きくつながるといった考えが基になっています。

その他、当工場の特徴として、専ら物の範疇と言えるか微妙な古紙のリサイクルに対応する為、当時、業界初となる一般廃棄物処理施設の認可を受け、細かく裁断された使い古しの日本銀行券等、難処理古紙のリサイクルを行っています。

又、ゼロエミッションとして、工場から発生する製紙スラッジをRPF化や製鉄所向けフォーミング抑制材として供給。このフォーミング抑制剤は、製鉄工程で発生するガスによる泡を

早く抑える事ができ、製鉄効率を高める事に役立っています。

#### 《質疑応答》

(質) 古紙の使用量は？

(質) 現状、家庭紙業界は比較的堅調な出荷量で推移していると思われる中、今後の少子化などによる人口減少を考えた場合、見通しについてお聞かせください

(質) パルプ価格について、昨年高騰後、下降気味にあるが見通しは？

(質) 高付加価値商品の成功例などは？

(質) 家庭紙商品の販売チャンネルとして成長中のドラッグストア・イーコマースへの取り組みは？

(質) 運送面の人手不足と物流コストの増加への対応は？

(質) 製紙産業は、勤務時間が変則で、人が集まらないのでは？

#### 《質問の回答は関東商組ホームページ ヤードレポートにて近日公開予定》

<http://kantoushoso.com/member/yardreport.html>

その後、製紙・古紙両業界が、今後、大市場へと期待される海外市場にどのように携わったら良いか、又、大分製紙様より、古紙業界の組合組織の体系、(公財)古紙再生促進センターとの関わりについての質疑応答など、活発な意見交換が行われ、気が付けば開始から2時間半を超えていました。

大分空港までのバス乗車時間も間際となった為、ここで会を終了。

最後に皆で工場正門前にて記念撮影、田北専務に大分駅まで車でお送りいただき、お別れ致しました。

今回取材にご協力いただいた田北社長、田北専務と大分製紙のスタッフの方々には感謝申し上げます。

## 新社長紹介



株式会社今井  
代表取締役社長 今井 利明

皆様はじめまして 株式会社今井 今井利明  
です。

私は、今年還暦の浦和生まれ川越育ちです。  
幼い頃は「サッカーの町浦和」みんなに混ざ  
ってボールを蹴る毎日でした。

川越に越してからは中学で極真空手に入門し  
ましたが、これもモノにならず……。お決まり  
のヤンキーコースで暴走を繰り返す。そんな少  
年時代でした。

商業高校卒業後に父と兄の勧めで、税理士事  
務所へ就職致しました。

事務所での仕事は、試算表の計算や減価償却  
の計算ばかりで同じ仕事に飽きていることに見  
兼ねた先輩が「おい、お客様のところへ行くか  
ら同伴して手伝え」そう言って頂けるのが楽し  
みでした。

とは言え、訪問先でも行う仕事は同じよう  
なものでしたが、何より勉強をさせて頂いたの  
は、小さな会社でも代表の方達の切実な想いや  
武勇伝を聞かせて頂いたのが、私の少ない引き  
出しの宝となりました。

2年間勤務の後に当社へ入社して、本社営業  
所で現場を11年経験し、その後上尾営業所の  
所長から、本社へ戻って金庫番を経て、昨年  
10月に社長に就任致しました。

この様な私ですが、皆様にご指導を頂きなが  
ら社業に邁進していく所存です。どうぞ今後と  
も宜しくお願い致します。



株式会社坪野谷紙業  
代表取締役社長 坪野谷 悟輝

この度坪野谷光男の後を受け、代表取締役社  
長に就任することとなりました。

若輩にして浅学非才の私にとりましては、不  
似合いな大役ではございますが、社業ならびに  
当業界の発展に専心努力いたす所存です。今後  
とも格段のご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申  
上げます。

## 三紙会 *Tweet* 「私の平成時代」

J P 資源株式会社  
山田 正雄

「私の平成時代」のお題を頂いたとき、振り返ると始まりは学生時代で白球を追いかけ野球の事しか考えていない時が平成の始まりでした。その後、社会人となり世の中もアナログからデジタルに変化し人生も折返してこの30年間山あり谷ありで色んな事がありました。これ以上ここでは深く掘り下げてお話しませんが、私にとって激動の平成時代でした。

今ふと思うことは、「野球の事しか考えていなかったあの頃にもどりたいな〜」ですかね。今年、年号も変わって新たな時代の幕が上がり

ますが、タイムマシンが出来れば過去に戻ってあの頃の自分に助言したいです。(笑)



株式会社新井商店  
川 又 修

昭和という時代が終わりを告げ、楽しい事、苦しい事があった平成もまもなく幕を閉じようとしている今、振り返ると「富士山」から太陽を引きずり出すと行なわれた、長渕剛オールナイトライブに参加した事が思い出に残っている。数日前から雨が降り当日は曇っていた“ふもとっぱら”の会場は富士の姿が見えなかった。夜明けの頃に富士が僕の前に姿を表した。あとは日が昇るのを待つのみ。会場では白地に赤の日の丸が揺れ拳が突き上げられ、太陽を呼び起

こすような異様な雰囲気だった。『日が昇る』を歌いながら見ていたら不覚にも泣いていた。まさに僕の中での「平成時代」とはあの日のとてつもなく大きかった霊峰富士と美しく輝いていた太陽である。





株式会社丸十商店  
高橋 德行



昭和生まれの自分にとって、就職したのが平成2年なので、社会人になってからが「私の平成時代」ということになります。

社会人新人の頃は、当時の上司に「新人類」、「昔はこうではなかった」など言われた記憶もあります。そんな自分も年齢を重ね、社会人として色々な経験も積んできました。当時自分が言われたように、現在では、自分の子どもを含

め、若い世代とのギャップを感じることも多々あります。

通信機器もガラケーからスマホとなり、SNSが当たり前の時代になりました。今の子ども達はパソコンの授業もあります。よく十年一昔とありますが、本当に時代の移り変わりは早いものだと、改めて感じました。

平成は今年で幕を閉じ、新しい元号になります。次はどのような時代になるのでしょうか。時代に遅れないよう、でも大事な事は見失わないように自分も成長していきたいです。

株式会社増田商店  
増田 悦宏

平成を振り返ってみる。

平成元年の時は自分はまだ中学生でアニメとか遊びに夢中で新時代になるような実感はあまり感じていなかった。

バブルの全盛期でもあった元年、数年後崩壊、湾岸戦争、阪神淡路大震災、9.11、リーマンショック、東日本大震災、色々あり混迷な時代だったと改めて思う。

この次の元号は？新たな時代となるのかと思いつつ、我々の業界の最後の平成は混迷な年明けとともに始まり、消費税増税や2020年問題と不安の方が勝る。

自分の平成時代の思い出というか出来事は結

婚して子供を二人授かった事。子供が成人して杯を交わせる事がこれからの一番の思い。(酒を飲むか分らんが?)

流石に自分が生きている内に再び元号が変わるとは思えないけど、子供がそれを経験するかな？さてどんな時代となるのやら…。



# 支部だより

## 東京都西支部

### 講演会報告

報告者：(株)こんの 営業課長 高橋 雅之

日 時：2019年2月8日

場 所：新橋亭 新館

#### 【日本古紙業界の課題】

講師：株式会社 富澤 相談役 瀧本義継氏



講師 瀧本氏

東京都西支部では、毎年支部新年会に併せて様々な方を講師にお迎えしての講演会を行っていますが、本年は株式会社 富澤 相談役の瀧本義継氏を講師にお迎えし、今後の古紙を取り巻く環境や、古紙問屋としてのあるべき姿等、まさに今一番必要とされている情報をご教示頂きました。

昨年後半からのご祝儀輸出相場も今年に入り一気に停滞ムードとなり、先行きが不透明な状況の中、みな真剣な眼差しで講演を拝聴しました。

瀧本氏の講演は、ポイントを絞りながら、より重点的且つ、分りやすい内容となっていました。

#### ①日本の古紙を取り巻く国際経済環境の変化

- 2020年以降日本の古紙は中国へ輸出が出来なくなる中で、中国は国内の古紙回収率を現状の48%から74%に近づける事や、古紙パルプ100万tの輸入等の対策を打っている。
- アジアの人口分布として、1位中国14億人 2位インド11億人 その他11億人となっている。経済は人口動向が最も左右される中で、2030年には中国14億人 インド13億人 その他14億人となり、古紙需要も中国からその他へ変化していく。

#### ②日本古紙のパラダイムシフトは避けられない

- 日本の古紙シェア率はOCC60% ONP15%となっている。古紙を回収形態で見ると、OCC・ONPは産業古紙として民間取引されており、その割合は90%に相当している。
- 埋もれた古紙の掘り起こしとして、雑紙の回収を積極的に協力する事。また、AIやIoTの活用は今後の古紙業界に於いても、大きな課題となる。

講演終了後は、美味しい食事を堪能しつつ、各社今後の市況に向けより一層身を引き締め、会場を後にしました。



講演の様様

## 東京都多摩支部

### 第5回 多摩支部ゴルフコンペを開催

報告者：多摩支部レポーター 紺野琢生

去る12月13日(木)、八王子市の相武カントリー倶楽部にて、第5回目となる多摩支部ゴルフコンペを開催しました。なお第4回は、昨年6月前年に引き続き軽井沢で開催しましたが、その際に年に2回くらいはやろうという支部長のお声かけで、今回のコンペが実現しました。年の瀬のウィークデーでしたが、多摩支部の支部員の他、美濃紙業(株)近藤行輝さん、(株)平松商店平松邦明さん、井出紙業(株)井出一之さん、東京紙業(株)赤澤満さんの4名のゲストにもご参加いただき、3組10名でのラウンドとなりました。天気は良かったものの、週明けからかなり冷え込んでおりましたので、着膨れするくらい着込んで参加しました。

多摩丘陵に位置しているもので、打ち上げ、打ち下ろしとアップダウンが多く、左右の樹木に阻まれつつのり面に助けられたり張り付いたり、距離は短めですが正確さの要求されるコースでした。(ほぼ、コースガイドの受け売りです。)

新ペリア方式、ハンデ上限なしの激戦を制したのは、(株)大久保の尾花健太郎さんでした。なお、優勝者には、先日の忘年会で大久保理事長から頂戴した寸志も副賞として授与されました。準優勝は平松邦明さん、ベストグロはやはり小池支部長でした。

では、ここで、見事優勝した尾花健太郎さんから一言！

『どーも恥ずかしながら105というスコアで優勝した(株)大久保府中営業所の尾花健太郎です。今年は夏の軽井沢で準優勝、そして今回は優勝と何だか新ペリアと相性がいいみたいで好成績を残せた年となりました。』

多摩支部の人たちは皆とてもいい人達ばかりで、毎回違うメンバーでも楽しくラウンドできています。そのお陰で毎回好成績を残せているのだらうと思います。でも打倒小池支部長を目標に仕事にゴルフに精を出し2019年も頑張っていきたいと想います。』

2019年の移動コンペは鬼怒川で開催する予定ですので、多摩支部の皆様、多くのゲストの皆様のご参加をお待ちしております。



# 通常総会と講演会のお知らせ

## 【関東製紙原料直納商工組合】

場所：日暮里ホテルラングウッド「鳳凰の間」

日時：2019年5月16日(木)

15時～15時45分 通常総会

16時～16時30分 講演会

テーマ「働き方改革関連法と古紙問屋の取組」

講師 特定社会保険労務士 石岡 實氏

17時～19時 懇親会

## 【全国製紙原料商工組合連合会】

場所：ホテルナゴヤキャッスル「天守の間」

日時：2019年5月30日(木)

15時15分～16時00分 通常総会

16時10分～16時40分 講演会

テーマ「働き方改革関連法と古紙問屋の取組」

講師 特定社会保険労務士 石岡 實氏

17時～19時 懇親会



## 編 集 後 記

古紙は投機的商品に変質したのでしょうか。高騰と急落が私たちを悩ませています。江戸時代の商人・本間宗久は、大阪の米市場で一財をなした人です。宗久は、相場師の技術を多く口伝し、後世に書物にまとめられました。その代表的なもので「足らぬものは余る、余るものは足らぬ……」の一節があります。

その中に「勝に乗ずるべからず。欲を深くし迷うべからず。」と「商内を致す節、何程の金高あきないに売買致すべきと分限に応じ相定め申すべし」があります。(自分の机に貼り付けている好きな一節です。) 相場仕事ではないのですが、昨年の高騰局面では、この一文が常に頭にありました。勢いに乗りすぎていないかな、欲を深

くしていないかな、高くなりすぎていないかな。私と同じく大勢の方が心配していました。市況、米中関係などと、環境だから致し方ないとするのではなく、環境の変化に適合するように、自らの行動を変化させる。高騰と急落を繰り返さないようにしたいですね。  
(編集人 斎藤大介)



新時代へ

変化を  
変化を  
追せよ  
追られる  
前に

二〇一九 全国製紙原料商工組合連合会

中部ファイバークラブ × 関東製紙原料直納商工組合

# 備えよう〇〇〇

## 準備万端いざ新時代へ!!

備蓄品

緊急連絡網

AEDの設置

避難訓練

2019年春の安全月間

備

全国製紙原料商工組合連合会

- 4 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
- 5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
- 6 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
- 7 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
- 8 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
- 9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30